

日本一に輝いたオンライン工場見学が好評 ランドセルの歴史や作り方、職人の想いを楽しく学べる内容 コロナ禍の夏休み、「おうちで社会科見学」がトレンド！

工房のある東京・足立区と長野・軽井沢の小学校対象に「職人インタビュー」も受付予定

工房系ランドセルメーカーの老舗、(株)土屋鞆製造所(東京都足立区、以下当社)では、ランドセルの工房見学を自宅で気軽に体験できる「オンライン社会科見学」が、日本一の評価^{*}を受けるなど、好評です。子どもが夏休みを迎えるいま、改めてその内容を紹介します。

※今年(2021年)4月17日付け日本経済新聞で、専門家が選ぶ「オンライン工場見学」のランキングで第一位に

「ランドセル工房のどこでも社会科見学」は、動画サイト「ユーチューブ」に配信しているオリジナルコンテンツです。「クイズ編」「ランドセルの作り方編」「職人の想い編」のカテゴリに分け、3~4分程の動画を3本アップしています。ランドセルの歴史や使う革、150ものパーツについて紹介するとともに、職人の丁寧な手作業の全工程を追いかける内容です。安全面から一般の工房見学では公開していない、革の裁断といったシーンをご覧いただけるのも、オンラインならではの利点です。

特設サイト上には、動画の視聴と合わせて学びを深めることができる学習シートも用意しています。各回視聴後に、Q&A形式のクイズに答えたり、気づきを記載できたりします。

小学生が毎日背負うランドセル。その背景にある、職人技の数々や、当社のものづくりへの想いを、気軽に楽しく学ぶことができます。



土屋鞆の「ランドセル工房のどこでも社会科見学」(URL: <https://tsuchiya-randoseru.jp/pages/kengaku>)
動画は、昨年(2020年)9月1日に一般公開後、再生回数累計約2万回となるなど、好評です。

<ご参考> コロナ禍の夏休み、おうち時間にオンライン社会科見学が人気

“非接触”で参加できる「オンライン社会科見学」に企業が注力しており、コロナ禍の夏休み、おうち時間にオススメです。当社のようにユーチューブを活用する企業や、ビデオ会議システムを利用してライブ配信する会社、360度カメラや仮想現実(VR)技術を駆使するところなど、飲料・食品・日用品メーカーや航空会社ら各社が知恵を絞って、魅力ある内容にしています。

土屋鞆のランドセル

地元で人気の工房見学、どこからでも参加できるようオンライン版を企画

当社は、工房のある東京足立区の子どもたちに「ものづくりの楽しさを伝えたい」という思いで、地元（足立区）の小学校の児童を対象に、工房内に招待して約 20 年にわたり社会科見学を受け入れてきました。1 回に訪れる約 100 人の子どもに、職人からランドセルの歴史や素材、作り方などを実演を交えて伝えていきます。

コロナの影響で昨年(2020 年)、直接の工房見学を中止にしたものの、どこからでも、どなたでも参加できる内容として「オンライン社会科見学」を企画。工房見学ができるオリジナルの動画コンテンツを 9 月に公開しました。再生回数の累計が約 2 万回(2021 年 7 月時点)となるなど、好評です。

土屋鞆のオンライン工房見学「どこでも社会科見学」概要

URL	https://tsuchiya-randoseru.jp/pages/kengaku
参加費	無料
内容	Web の特設ページよりオリジナルの「社会科見学 学習シート」をダウンロードいただけます。印刷し、動画を【1】【2】【3】の順番で見ながらシートを埋めていくことで、動画を通じた工房見学の学びを深めることができます。 【1】クイズ編…意外と知らないランドセルの名前の由来や素材の話をクイズ形式で学ぶ動画です 【2】ランドセルの作り方編…一枚の革を切り抜いてから 1 つのランドセルができるまで、流れを追ってご紹介。工房の様子や働く職人の姿を見学できます 【3】職人の想い編…職人の言葉を通して、ランドセルをつくる時に工夫している点や、小学生へのメッセージをご紹介します
一般問合せ	お客様サポート係 Tel: 0120-907-647(平日 10:00~17:00) ※年末年始休業・臨時休業あり

工房のある東京足立区と軽井沢の小学校対象に「ランドセル職人インタビュー」も受付

2021 年秋には、当社工房のある東京都足立区内と長野県軽井沢町内の小学校を対象に、子どもたちからランドセル職人へのインタビューを受け付ける企画を、ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を使い実施予定です。授業の一つとして、オンライン工場見学を活用していただく狙いです。

授業はまず、「どこでも社会科見学」の動画を見学にご覧いただけます。その後、当社の工房と教室を「Zoom」でつなぎ質疑応答の時間を設けます。

昨年(2020 年)、学校・クラス単位で同様の募集をしたところ、国内外計 14 の小学校とつながりました。見学した児童からは、「職人さんと話せて楽しかった!」「ランドセルは 6 年生まで大切に使います」といった感想が上がっています。またオンラインにしたことで海外(ドイツの日本語補習校)からも申し込みがあり、時差を越えて実施。「日本のものづくり」を直接伝えることができました。見学を実施した小学校の教員の方からは、「馴染みのあるランドセルがどのように作られるか、子どもたちも興味があるようだった」「短めの映像、クイズ形式やワークシートが使いやすかった」などの感想があり、好評を得ています。(右の写真は昨年の様子)



土屋鞆のランドセル

約 200 人の職人が手作り、工房系を代表するブランド「土屋鞆」について

「土屋鞆製造所」は 1965 年創業、革製品を扱う老舗の鞆メーカーです。

職人が一つひとつ手作りする工房系ランドセルメーカーを代表するブランドとして、日本製の高品質なランドセルを提供しています。卒業する日までの 6 年間、無償修理の保証を付けるなど、職人が見守り続けるサービスの質も利用者にも支持されています。



そんな高品質なものづくりを支えるのが、約 200 人の職人です。

職人たちは、店舗併設型の工房「土屋鞆製造所 西新井本店」(東京・足立区)と「同 軽井澤工房店」(長野・軽井沢町)、また工房の「同 佐久工房」(長野・佐久市)でランドセルづくりに打ち込んでいます。

ランドセルは、150 以上のパーツを使い、300 を超える工程(手仕事)をかけて完成します。分業制でこしらえる一つのランドセルは、50 人以上の人間が携わります。何十年も活躍するベテランから若手まで、平均年齢 30 代のランドセル職人が日々、切磋琢磨しています。

老舗ながら、新しいランドセルやサービスに着手する、時代の変化を捉えるブランド(メーカー)で、例えばカラーバリエーションも 20 年前から増やし、いまでは約 50 色を揃えます。

(株)土屋鞆製造所 会社概要

社名	株式会社土屋鞆製造所	創業	1965 年
本社	123-0841 東京都足立区西新井 7-15-5	資本金	7000 万円
代表	代表取締役社長 土屋成範	URL	https://tsuchiya-kaban.jp
事業内容	オリジナルブランドでの皮革製品を中心としたランドセル、鞆・小物の企画・製作、及び販売		

(株)ハリズリー 会社概要

社名	株式会社ハリズリー	法人設立	1983 年 11 月
本社	103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-6-6 ワカ末ビル 4F		
代表	代表取締役社長 土屋成範	資本金	1000 万円
事業内容	運営子会社に対する経営指導およびコンサルティング業務		
主な子会社	株式会社土屋鞆製造所、株式会社ドリームフィールズ、株式会社室町硝子工芸、株式会社アンドロソフィー ※全てハリズリー100%出資子会社		

————— 報道各位からの問い合わせ先 —————

(株)ハリズリー ※ハリズリーは(株)土屋鞆製造所の親会社です
広報事務局((株)Clover PR 内)

担当:福本(070-6466-6062)、勝又(070-4306-3879)、富田、澤本
03-6452-5220(tel) harizury-pr@cloverpr.net(mail)

or

(株)土屋鞆製造所 広報:高橋

070-7772-7692(tel) press@tsuchiya-kaban.com(mail)